

【平成 27 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 4】

☆ 2015 年 7 月 7 日 講義開始時締め切り

【問1】ある経済が閉鎖経済で、民間部門と政府部門によって構成されているとする。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。（単位は億円）

消費関数： $C=20+0.6Y$

独立投資： $I=40$

政府支出： $G=20$

但し、 C は消費支出、 I は投資支出、 G は政府支出、 Y は国民所得であるとする。

- (ア) この経済の総需要を表わしなさい。
- (イ) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。
- (ウ) 今、この経済の潜在生産高が260である場合、この経済に生じるデフレギャップの大きさを求めなさい。
- (エ) 政府支出を増やして、(3) で求めたデフレギャップを閉めるために公共工事を行い、橋を建設することとした。また、建築業者→自動車製造業者→繊維業者→食品業者の順で最終財を受容すると考えたとき次の問いに答えなさい。
 - a. 建築業者はいくらを所得として受け取り、そのうちいくらを自動車の購入に充て、いくらを貯蓄に充てるか？
 - b. 建築業者からの需要にこたえるため、自動車製造業者はいくら分の生産を行い所得を得るか？また自動車製造業者はいくらを繊維業者の製品への消費に充て、いくらを貯蓄するか？
 - c. 同様に繊維業者、食品業者の所得の増加、需要（消費額）、貯蓄額はいくらになるか示しなさい。
 - d. このa.～c.の段階のみで増えるGDPの総額を示しなさい。
 - e. このような消費→生産→所得→消費→・・・の連鎖が永続的に続いたときに得られるGDPの増加の総額を無限等比数列の和として表しなさい。

【問2】将来価値と（割引）現在価値について、次の①～③を求めなさい。「お金」の流れを表す図を描いて説明するとよい。

- ① 今期の期首に240万円銀行に預けた。銀行利率が2%である時、来期の期首には総額でいくらになるか、将来価値を求めなさい。
- ② 銀行に預金して、来期の期首に元本と利子をあわせて224万円が得られるためには、今期の期首にはいくら預ければよいか求めなさい。ただし、銀行利率は1.5%であるとする。
- ③ 銀行に預金して、2期先の期首に元本と利子をあわせて224万円受け取るためには、今期の期首にはいくら預ければよいか求めなさい。ただし途中で受け取る利子は元本に組み込み引き出さないこととし、銀行利率は変化することなく1.2%であるとする。